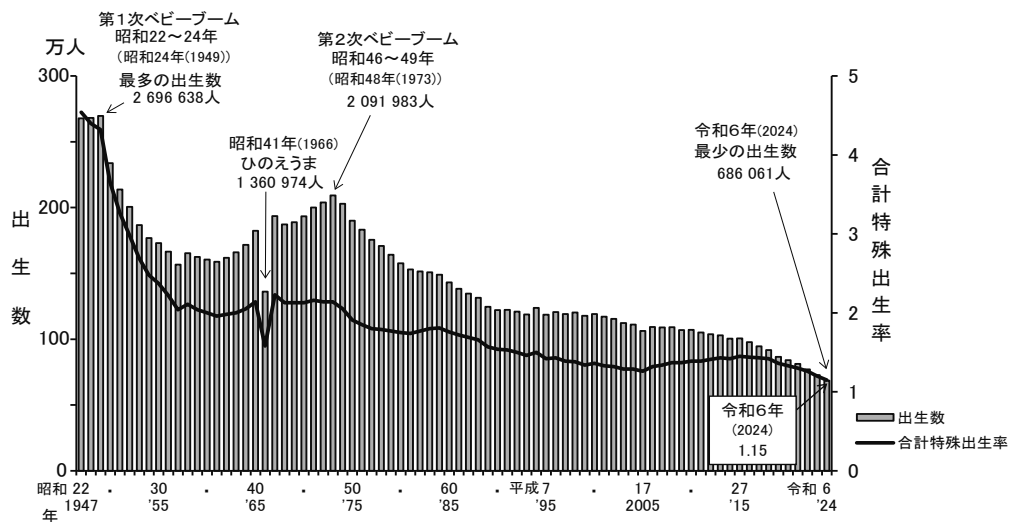


2026 年度
一般推薦入試
(保健医療学部)
小論文 (100 点・90 分)

図 1 は、日本の出生数及び合計特殊出生率の年次推移を表しています。
合計特殊出生率とは、1 人の女性が一生に産むと推測される子どもの数を指す指標です。出生数は、1947 年 (2,696,638 人) に比べ 2024 年 (686,061 人)、合計特殊出生率は 4.54 から 1.15 とどちらも 4 分 1 近く減少しています。

この推移の動向が原因で、今後の日本社会に起きると考えられる現象を一つ提示し、その理由について述べなさい。また、その現象が社会にプラスに働くのであれば推進策を、マイナスに働くのであれば改善策を、合わせて 800 字～1000 字で述べなさい。

図 1 出生数及び合計特殊出生率の年次推移



出典：厚生労働省 令和6年(2024)人口動態統計月報年計（概数）の概況より

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/geppo/nengai24/index.html>